

ガス燈 (映画)

『ガス燈』(ガスとう、Gaslight)はパトリック・ハミルトン(英語版)の戯曲。それを元にしたサスペンス映画として、1940年の英国版と1944年の米国版があり、イングリッド・バーグマンがアカデミー主演女優賞を受賞した後者がよく知られている。

オリジナルの『ガス燈』は1939年1月にロンドンで舞台上演されテレビ中継もされた。米国では1941年12月に『Angel Street』と改題されてブロードウェイで上演され、3年に渡るロングランとなった。そのブロードウェイ公演では主人公ジャック・マニングガムをヴィンセント・プライス、ラフ刑事をレオ・G・キャロルが演じた。

この作品(特に1944年の米国版映画)の内容から、1970年代後半以降「ガスライティング」が心理的虐待を表す用語として使われるようになった。

あらすじ

霧深いロンドンに、ある夫婦が暮らしている。夫に「物忘れや盗癖が目立つ」と指摘された妻は自分がおかしくなったのだと思い込み、不安に苛まれるようになる。しかし、それは夫がそう言い聞かせることで妻を精神的に追い込んでいたからだった。そこにはかつてアリスという裕福な女性が殺害され、宝石が盗まれた事件が関係しており、その犯人はまだ捕まっていなかった。

アメリカ合衆国 1944年5月4日 日本 1947年6月 上映時間 114分

メトロ・ゴールドウィン・メイヤーの製作で、ジョン・ヴァン・ドルーテン(英語版)とウォルター・ライシュ(英語版)、ジョン・L・ボルダーストン(英語版)が脚色し、ジョージ・キューカーが監督した。

イングリッド・バーグマンがアカデミー主演女優賞とゴールデングローブ賞 主演女優賞(ドラマ部門)を受賞している。また、アンジェラ・ランズベリー(撮影当時17歳)の映画デビュー作であり、アカデミー助演女優賞にノミネートされた。

登場人物

グレゴリー・アントン・シャルル・ボワイエ

ポーラ・アルキスト・アントン・イングリッド・バーグマン

ブライアン・キャメロン・ジョゼフ・コットン

ベッシー・スウェイツ・メイ・ウィッティ：近所の老婦人。

ナンシー・オリヴァー・アンジェラ・ランズベリー：メイド。

エリザベス・トンプキンス・バーバラ・エヴェレスト(英語版)：料理人。耳が遠い。